

デジタル社会における金融インフラ

つなぐITコンソーシアム
令和5年度Webカンファレンス
～どうする！どうなる？中小企業のデータ連携基盤～

明治大学政治経済学部
小早川 周司

2024年1月22日

金融インフラの整備（１）

24/7即時振込（全銀モアタイムシステム）の実現

夜間、休日を含めて、1年365日、1日24時間いつでも銀行口座間の振込（受取人口座への入金）を可能とすること。

送金後、受け取った相手方が資金を即時に利用できること。

金融インフラの整備（２）

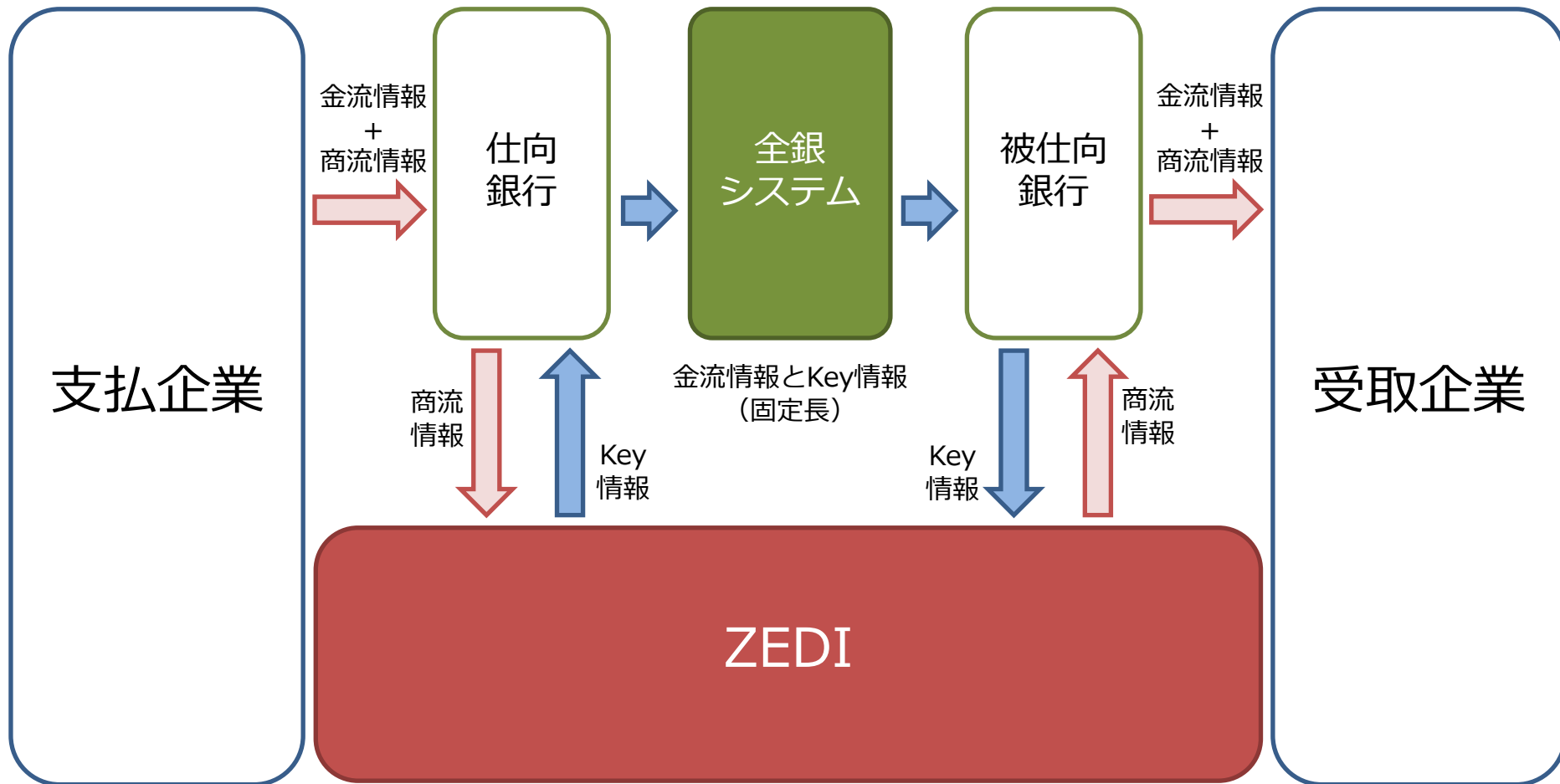
本日のメイントピック：金融EDIの活用に向けた取り組み

企業の受発注等に関する物流情報（商流情報）と決済情報（金流情報）を連動させ、企業間で決済する際の取引関連データを電子的に交換するための仕組み。

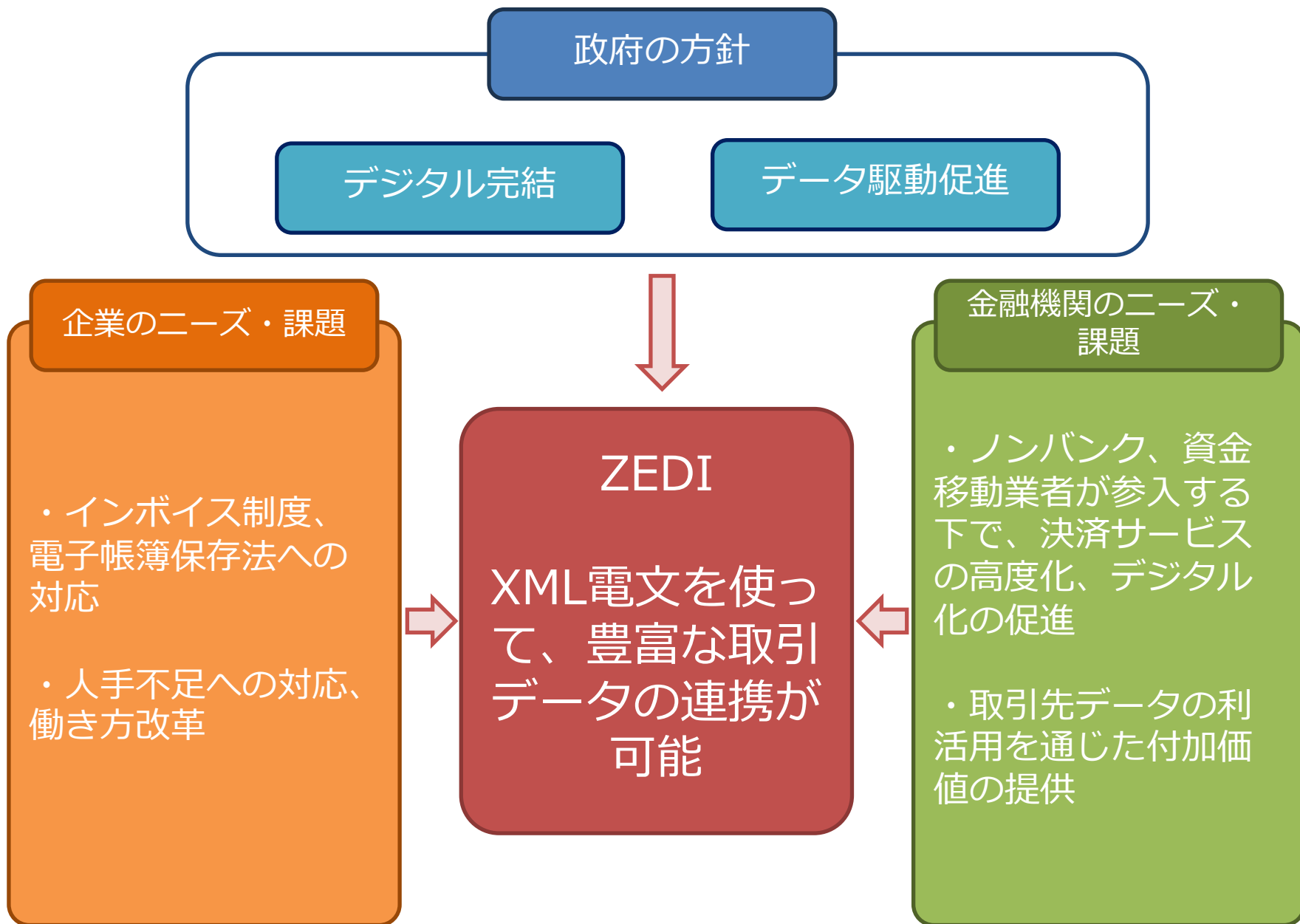
売掛金の消し込みを、従来の手作業ではなく、自動的に処理。この結果、商品の受発注から資金の決済までの一連のプロセスを、すべて電子化することによって、STP（一気通貫での事務処理）を実現することができる。決済事務の効率化→生産性の向上に寄与することが期待される。

全銀EDI（ZEDI）システム

取引先企業がIB（インターネットバンキング）等を使って、XML電文を送受信できるような仕組み。商流情報を預かる「クローク」としての役割。

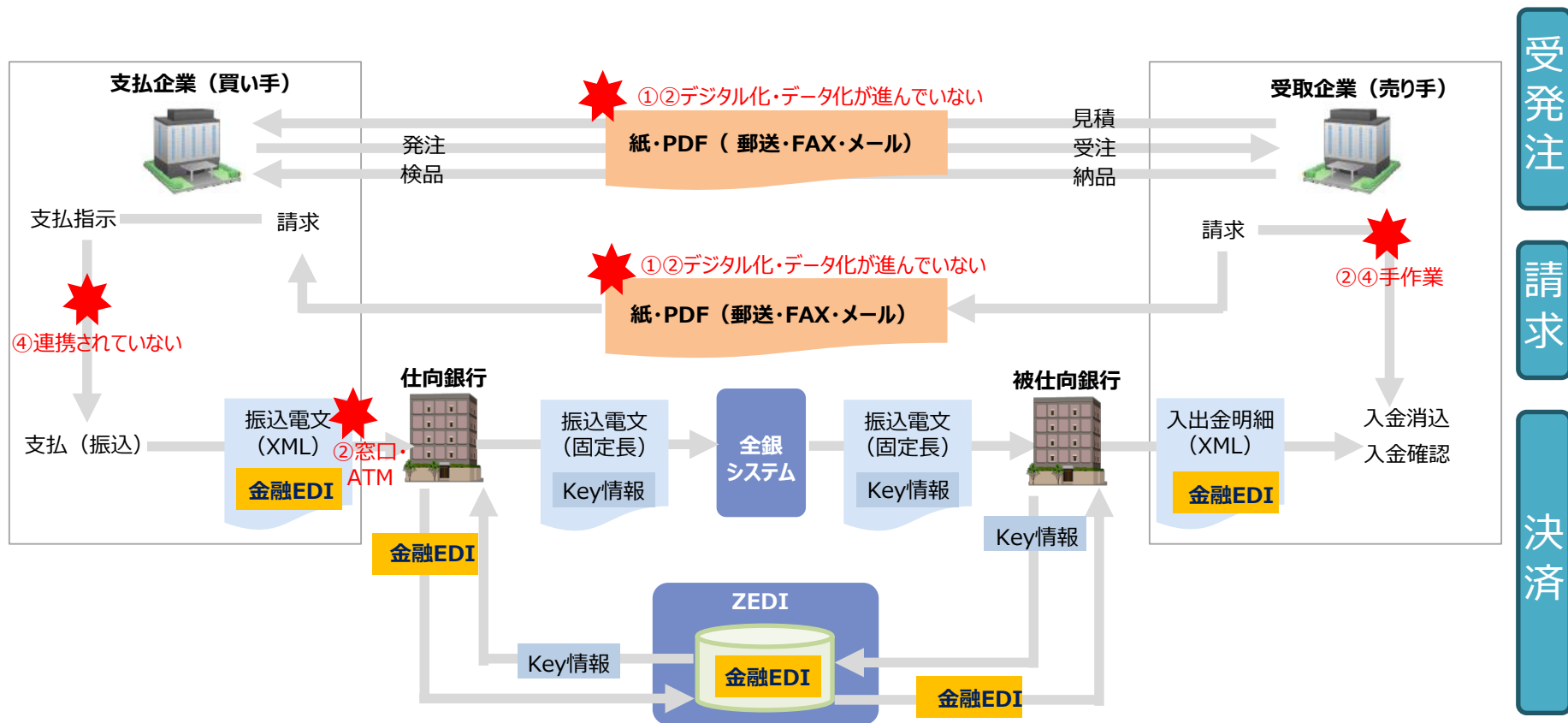


今、なぜZEDI?



ZEDIの役割

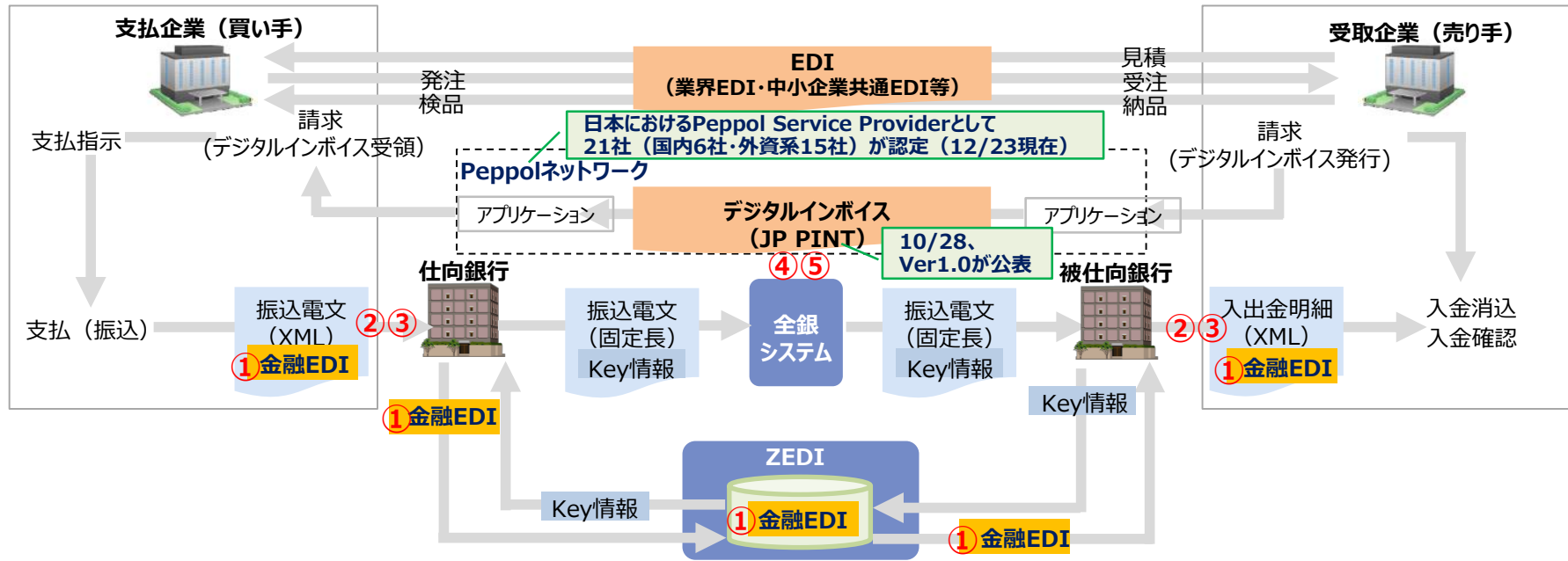
川上（受発注）川中（請求）川下（決済）の現状



出所：全国銀行資金決済ネットワーク「全銀ネット有識者会議・事務局説明資料」（2023年1月16日）より抜粋

ZEDIの役割

川中を起点（デジタルインボイス）とした一気通貫でのデータ連携の実現



出所：全国銀行資金決済ネットワーク「全銀ネット有識者会議・事務局説明資料」（2023年1月16日）より抜粋

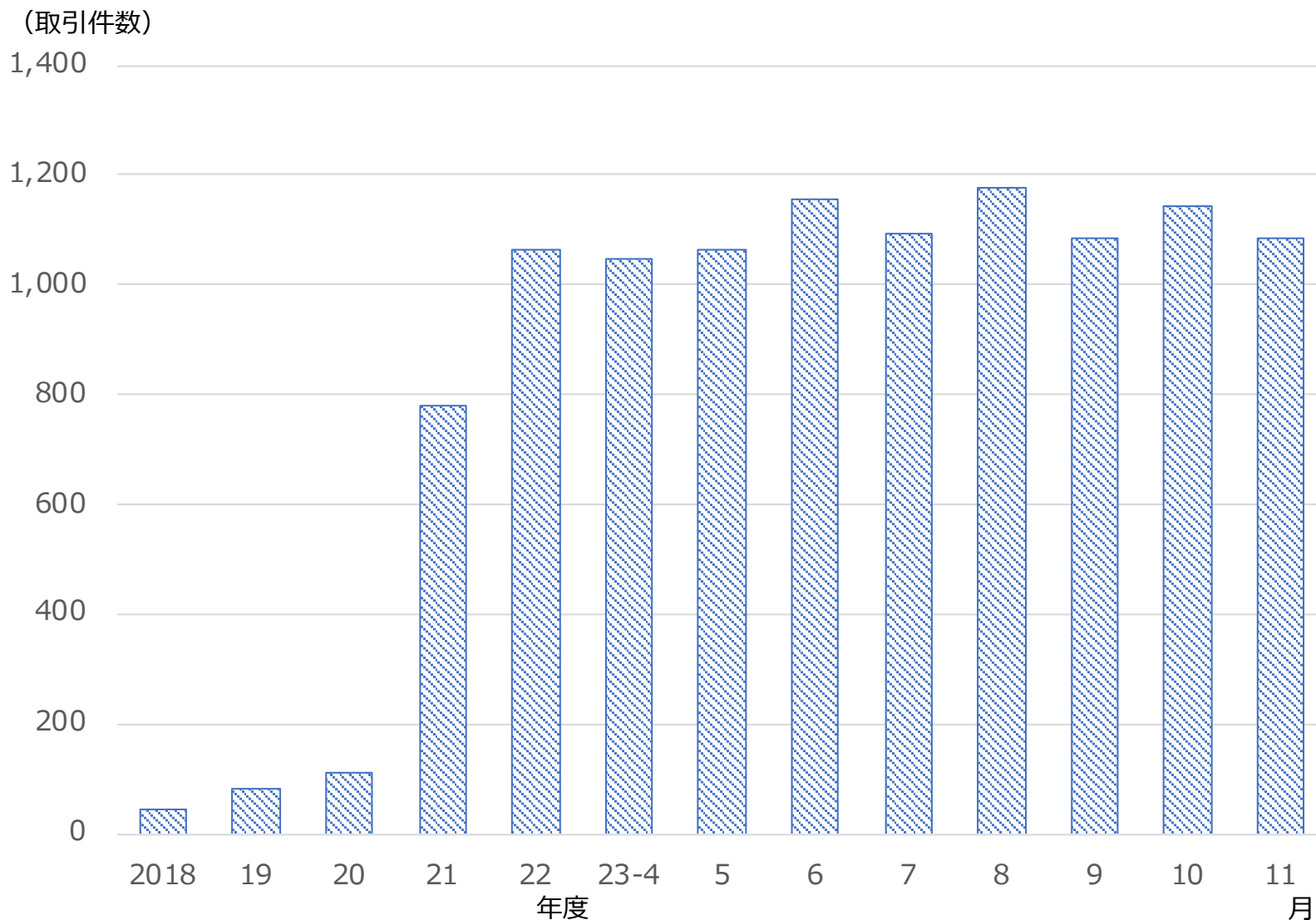
デジタルインボイス（JP PINT）を前提とした 金融EDI情報の標準化

JP PINT対応の金融EDI情報標準（DI-ZEDI）の項目案	入力	項目属性
業界区分	任意	半角英数 3 文字
データ区分	任意	半角英数 3 文字
請求書番号 <IBT-001 : Invoice number>	必須	全半角40文字以内
請求書発行日 <IBT-002 : Invoice issue date>	必須	半角数字 8 文字
請求金額（税込） <IBT-112 : Invoice total amount with TAX>	必須	半角数字10文字以内
売手企業の登録番号 <IBT-031 : Seller TAX identifier>	必須	半角英数字14文字
買手企業の登録番号 <IBT-048 : Buyer TAX identifier>	任意	半角英数字14文字
備考（振込に関する買手企業の連絡先等を入力）	任意	全半角140文字以内

※ <>内は、情報項目に対応するJP PINTにおける「Semantic model」における「Id」欄と「Business Term」欄を記載の内容

出所：全国銀行資金決済ネットワーク「全銀ネット有識者会議・事務局説明資料」（2023年1月16日）より抜粋

ZEDIの利用状況



注：2018-22年度については、年度計数を月次に変換。

出所：全国銀行資金決済ネットワーク「全銀EDIシステム取扱高等統計」

金融EDIのさらなる活用に向けて

金融機関

- 「コンシェルジュ」機能の発揮
- 取引先のミクロ情報を活用した経営支援、需資の掘り起こし

支援

企業

- バックオフィスに止まらない事務の効率化
- サプライチェーンの改善